

令和7年度 学校自己評価書

静岡市立清水桜が丘高等学校

I 経営の重点に関わること（自己評価 A：十分効果を上げた B：効果を上げた C：効果が上がっていない）

| 1 学校教育目標 | 自己実現に向かって挑戦し、未来を切り拓くたくましい若者を育成する。 | 自己評価 | 学校運営協議会委員からのコメント |
|-----------|-----------------------------------|--|---|
| 2 重点目標 | (1) 豊かな人間関係づくりと個別最適な学び | <p>①気持ちのよい挨拶ができると答える生徒の割合（生徒アンケートで「非常にそう思う」「そう思う」と答えた生徒 以下の項目も同じ） 目標 85% 今年度 72.3% 前年度 79.5% (7.2ポイント減少) 多くの生徒は挨拶の習慣がついていると思われるが、来年度は、教職員・生徒に対する人権意識の涵養を一層推進していく必要がある。</p> <p>②礼儀やマナーを大切にしていると答える生徒の割合 目標 95% 今年度 92.8% 前年度 95.4% (2.6ポイント減少) 外部からの感謝（人命救助、高齢者・子供に対する善行）や苦情（交通・公共マナー）について報告があった。生徒がTPOを踏まえて行動ができるように、学校の教育活動を推進していく。</p> <p>③自分に良いところがあると答える生徒の割合 目標 85% 今年度 77.7% 前年度 79.4% (1.7ポイント減少) 学校全体の教育活動を通して、自己肯定感や自己高揚感を高める活動を推進していく。</p> <p>④信頼できる先生がいると答える生徒の割合 目標 85% 今年度 77.9% 前年度 80% (2.1ポイント減少) 教職員に対する人権意識の涵養や生徒が相談しやすい関係づくりを推進していく。</p> <p>⑤学校が楽しいと答える生徒の割合 目標 85% 今年度 80.4% 前年度 77.7% (2.7ポイント増加) 文化祭の一般公開や昼食の注文等、生徒の意見を尊重した行事や学校生活により、生徒の様子は前向きである。</p> <p>⑥1カ月に1冊以上の読書をする生徒の割合 目標 70% 今年度 68.9% 前年度 70.6% (1.7ポイント減少) 前年とほぼ変わらないが、目標値をやや下回った。</p> <p>⑦問題行動等件数、交通事故件数の前年度比減少 問題行動：今年度 3件 前年度 4件（1件減少） 交通事故：今年</p> | <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～⑦については、昨年度に比べポイントが減少しているものと増加しているものが混在している。減少しているものであっても目標値が高いものが多く、総じて「B：効果を上げた」と考えてよいと考えます。 ・目標に対して効果を上げているが、一歩及ばずといった結果である。 ・人間関係は少しずつ時間をかけて築いていくものなので地道な取り組みを進めて欲しい。また、信頼はひとつの出来事で一気に崩れてしまうので現状から後退しないよう注意して取り組んで欲しい。 ・挨拶の数値が下がっていることは残念ですが、人と人との繋がりが多様化している現代では、有り方の変化があるのかもしれませんが、引き続き育成に御尽力をお願いいたします。 |

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>度8件 前年度6件（2件増加） 今年度交通事故については、重大な事故はないが数件の交通事故が発生している。被害者・加害者にならない啓発の機会を設けていく。</p> | | | |
| <p>⑧授業の内容が分かると答える生徒の割合 目標70% 今年度67.9% 前年度68.3（0.4ポイント減少） 来年度、反転授業等の授業改善を導入し改善を図る。</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> ・⑧、⑨については、昨年度に比べわずかな減少ですが、授業、学習活動は、学校教育活動の中心であるので、プラスとなるよう、引き続き目標に向けて取り組んでください。 ・ICT機器は道具であり、活用することが目的とならないよう、研修を行うなど取り組んでください。 ・自分に合った学習を自ら見つけることは難しいかもしれないので、教職員のフォローを引き続きよろしく願いいたします。 | |
| <p>⑨ICTを活用し、自分にあった学習をしていると答える生徒の割合 目標100% 今年度83.6% 前年度87.8%（4.2%減少） ほとんどの生徒がiPad等のICT機器を自分なりに駆使し、学習活動に活用している。</p> | | | |
| <p>⑩進学希望者の進路希望（3年当初）の達成率 50% 県内国公立大学合格 10人以上 進学希望者の進路希望（3年当初）の達成率 目標50% 今年度56% 県内国公立大学合格 目標10人以上 今年度11人</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> ・⑩⑪⑫については、目標が達成できています。引き続き来年度も、進路指導、キャリア教育に取り組んでください。 | |
| <p>⑪就職希望者の就職決定率 目標100% 今年度100% 前年度100% 3年生就職希望者40名（民間企業38名、公務員2名）全員の進路先が決定した。</p> | | | |
| <p>⑫3年間を見通したキャリア教育計画の作成と、学習への取り組み・進路希望調査等のデータの活用 進路希望調査の詳細や面談事前アンケート等を教員全体で共有し、より生徒個々に寄り添える形でデータ活用を行った。</p> | | | |
| <p>⑬授業内容に興味があつて学校を選択した生徒の割合（1年生）【新規】 目標30% 今年度46.3% 新規項目であったが、半数近くが授業内容に興味があつて学校を選択した。</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も授業公開を通して、目標達成に向けて取り組んでください。 ・学校選択をした生徒が授業内容の情報をどの様にして取得したのかを分析して有効な情報発信に繋げてほしい。 ・生徒数が減少していく中で選ばれる学校運営が重要。 | |
| <p>⑭資格取得により身につけた力を活用できたと答える生徒の割合 目標55% 今年度44.3% 前年度49.7%（5.4%減少） 資格の取得はキャリアの選択を広げるため、今後も資格取得を促していきたい。</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けて、来年度も引き続き、生徒に働きかけを行ってください。 ・資格取得の有用性をアピールして、生徒の学習意欲を上げて頂ければ幸いです。 | |
| <p>(2) 地域や企業と連携した活動を通した学び</p> | <p>①課題探究型授業を実践している教員の割合 目標75% 今年度④30.8% ⑧68.8% ④総合的な探究の時間や他教科等と、つながりを持った学習活動を行った教員の割合</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> ・教員研修等を通して、目標達成に向けて取り組んでください。 |

| | | |
|--|---|--|
| <p>⑧教科指導、総合的な探究の時間、部活動等における、地域・社会と連携した活動を実施した教員の割合 課題解決を意識した授業づくりが浸透し、地域・社会との連携した教育活動が多く見られるようになってきているが、他教科等とのつながりを意識した授業実践が不足している。</p> | | |
| <p>②課題解決力が身についた（日常生活で生かしている）と答える生徒の割合 目標 75% 今年度 65.7% 前年度 70.5% (4.8ポイント減少) 授業、学校行事、部活などあらゆる機会を捉えて課題解決力が身につくよう促していきたい。</p> | | <p>・目標達成に向けて、日ごろの教育活動の中に、課題解決を意識した授業づくり、自分の考えを表現する機会の設定などを意図して取り組んでください。 ・主体性や課題解決力は経験や機会の多さに比例するように感じます。そのような機会を増やして頂ければと思います。</p> |
| <p>③自分の考えを説明したり表現したりする力が身に付いていると答える生徒の割合 目標 80% 今年度 70.4% 前年度 76.3% (5.9ポイント減少) ICTを利活用しより簡単に自己を表現できるようになった。身につけて力を出力する機会を増やし、力が付いたことを実感する活動を進めて行く。</p> | B | |
| <p>④総合的な探究の時間や他教科等と、つながりを持った学習活動を行った教員の割合 目標 75% 今年度 30.8% 前年度 39.4% 総合的な探究の時間や他教科から得られる知見を活かし、授業改善につなげていく目標には現状では達成していない。しかし、教科横断型の授業は、生徒がより深く学習をすることができるため、今後推進していく。</p> | C | <p>・目標設定と教員の実態の差が大きいことから、目標の設定の検討が必要に思います。 ・探究活動に関連する項目も多く、目標設定とともに、項目の整理も必要ではないでしょうか。 ・教員研修等を通して、目標達成に向けて取り組んでください。 ・総合的な探求はスタートしたばかりで手探りの部分も多いと思うので教師間で問題や課題を出し合って全体的な底上げをお願いしたい。 ・つながりをもった学習活動をする必要性から導き、今後の推進に繋げていただければと思います。 ・(1)⑬授業内容に興味があつて学校を選択した生徒(1年生)が約半数存在するのに対し、この結果をどう捉えるべきか、推進する前に検証してみても良いのではないのでしょうか。</p> |
| <p>⑤自らの探究活動について主体的に発表できる生徒の割合【新規】 目標 80% 今年度 74.3% 概ね目標に近い結果となった。今後も様々な教育活動の機会を主体的に発表できる生徒を育成していく。</p> | | <p>・⑤、⑥については、目標には達成しなかったものの、あと少しです。目標達成に向けて、来年度も引き続き、生徒に働きかけを行ってください。</p> |
| <p>⑥自らの考えと異なる人とも意見を調整しながら協働して探究活動を行える自信あると答える生徒の割合 目標 80% 今年度 70.3% 他者と意見を調整しながら協働する機会を設け、生徒の自信を育成</p> | B | <p>・⑦、⑧については、目標達成に向けて、来年度も引き続き、生徒に働きかけを行ってください。 ・探究活動に関連する項目も多く、目標設定とともに、項目の整理も必要ではないでしょうか。</p> |

| | | | |
|--------------------|---|---|--|
| | <p>していく。</p> <p>⑦清水区探究コンソーシアム内の学校と連携した探究活動 12月に清水区探究コンソーシアムの学校と集まり、探究活動の生徒発表に加え、生徒同士・教員同士の情報交換会を行った。</p> <p>⑧教科指導、総合的な探究の時間、部活動等における、地域・社会と連携した活動を実施した教員の割合 目標 75% 今年度 68.8% 前年度 57.5% (11.3ポイント増加) 昨年度から大幅に増加した。今後も地域・社会との連携した教育活動を推進していく。</p> <p>⑨HP、学校紹介リーフレット、中学生体験入学の見直し HPに生徒の活動をエックス、インスタで掲載を開始した。 学校紹介リーフレットは、学校案内、オープンスクール・学校見学会のチラシを刷新した。 オープンスクールは8月、学校説明会は6月・11月を開催した。</p> <p>⑩学校教育活動に支援者として参加した（オープンスクールの受付、メディアセンターの監督等）PTAの割合 目標 30% 今年度 10.6% 前年度 17.8% (7.2ポイント減少)</p> | | |
| | | B | <ul style="list-style-type: none"> ・⑦、⑧については、目標達成に向けて、来年度も引き続き、取り組んでください。 |
| | | A | <ul style="list-style-type: none"> ・「X」や「Instagram」の活用や、学校案内等の刷新など、積極的に広報に努めていて、非常に良いと思う。 ・来年度も引き続き、積極的に取り組んでください。 ・HPやチラシなどの媒体がオープンスクールや学校見学会参加にどれだけ影響を与えたかを分析して有効な情報発信に繋げてほしい。 |
| | | C | <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、学校運営協議会委員の佐野氏や、現PTA会長とも相談・協議し、学校の教育活動への参画を働きかけてください。 ・PTAと学校との繋がりは疎遠になりつつありますので、そのような機会を増やしていく必要があると思います。 |
| (3) 粘り強く挑み続ける力強い学び | <p>①主体的に取り組んでいることがあると答える生徒の割合 目標 90% 今年度 78.1% 前年度 84.5% (6.4ポイント減少) 多くの生徒が主体性を発揮し、学習活動、部活などに積極的に取り組んでいる。</p> <p>②挑戦していることがあると答える生徒の割合 目標 85% 今年度 76.8% 前年度 79.9 (3.1ポイント減少) 多くの生徒が主体性を発揮し、学習活動、部活などに積極的に取り組んでいる。</p> <p>③地域とかかわり、課題を見つけ、自分の考えを表現できたと答える生徒の割合 目標 85% 今年度 74.3% 前年度 80.4% (6.1ポイント減少) 総合的な探究の時間や一部の教科で地域との関わりが増え、地域社会が抱える課題や魅力等考える機会が多くなってきた。</p> <p>④複数部活動の東海大会、全国大会への出場 東海大会出場：男子ハンドボール部、陸上部、ワープロ部 全国大会出場：報道部場：男子ハンドボール部、ワープロ部 全国大会出場：男子ハンドボール部 棋道部</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・目標には届かなかったものの、生徒は意欲をもって取り組んでいることがわかりました。目標達成に向けて、来年度も引き続き、取り組んでください。 ・学校が様々な改革を行っていることを教職員、生徒で共有し、そのような環境の中で学んでいることを意識させる働きかけを行うことが大切だと思います。①、②、③はそれらと密接な関係があります。 ・目標に対しての数字が下回っていたが、今後も引き続き目標に焦点をあてて取り組んでいただきたくお願いいたします。 ・①、②については、主体性や挑戦意欲は高い水準を維持していますが、前年度比ではいずれも低下している要因は分析した方が良いと思います。 |

| | | | |
|-------------------------|--|---|--|
| | ⑤学校の課題を明確にし、解決に向け取り組んだ教員の割合 目標 90% 今年度データなし 前年度 84.8% | B | ・来年度は、「〇〇という学校の課題の解決に向けて取り組んだ教員の割合」のように、目標を明確にしてみてください。 |
| | ⑥入学者選抜における、定員を上回る志願者の確保 令和7年度入学者選抜受検者数 普通科 114名 商業科 124名 令和8年度入学者選抜受検者数 普通科 125名 商業科 129名 | | ・今後の志願状況を基に、評価してください。次年度も、入学者確保に向けて、来年度も引き続き、取り組んでください。 |
| | ⑦訪問受入、外国客船歓迎、国際交流活動等の実施（3回以上） 台湾嘉義県教育処（5月9日）の教職員の学校訪問の受入、サンフェルナンド日本語学校（6月19日～20日）の生徒の受け入れを実施した。 | B | ・目標達成に向けて、来年度も引き続き、取り組んでください。 |
| (4) 市民の期待と信頼に応える教育活動の推進 | ①ホームページや配布物等により、学校の様子がよく分かれると答える保護者の割合 目標 70% 今年度 70.1% 前年度 62.7% (7.4ポイント増加) HPやSNS、Classiなどの配信システムを活用して校長講話、学級通信、進路通信などを通知している。また、定期的に保護者会を開き情報提供を行っている。 | A | ・保護者にとって、学校の教育活動の様子が提供されることは大切です。 ・HP、「X」、「インスタグラム」の活用や、学校案内等の刷新など、積極的に広報に努めていて、非常に良いと思う。 ・来年度も引き続き、積極的に取り組んでください。 |
| | ②HP、学校紹介リーフレット、中学生体験入学の見直し HPに生徒の活動をエックス、インスタで掲載を開始した。 学校紹介リーフレットは、学校案内、オープンスクール・学校見学会のチラシを刷新した。 オープンスクールは8月、学校説明会は6月・11月を開催した。 | | |
| | ③組織的に地域連携を実施できる体制づくり 今年度より、研修課を増員し、総合的な探究の時間をより充実を図るようにした。また、観光ビジネスなど商業科目を中心に地域連携を推進している。 | A | ・目標達成に向けて、来年度も引き続き、取り組んでください。 |
| (5) 働き方改革 | ①各部署における業務の見直しと削減の推進 4月から11月の平均時間外が約272分減少した。来年度も業務の精選・効率化を進める。 | A | ・一人あたりにすると、数分であるが改善できたことは大きな意味がある。引き続き、工夫することにより、業務改善をさらに進めてください。 |
| | ②ICTを活用し業務の効率化をしている教員の割合 目標 100% 今年度データなし 前年度 93.9% 多くの教員がICTを活用して業務を行っている。 | | |

Ⅱ 各指導部・領域に関わること（自己評価 A：十分効果を上げた B：効果を上げた C：効果が上がっていない）

| 大項目 | 中項目 | 評価指標 | 自己評価 | 学校運営協議会委員からのコメント |
|-------------|---------------------|--|------|---|
| 1 教育課程・学習指導 | (1) 確かな学力の定着【共通項目1】 | <p>①課題探究型授業を実践し、自己の考えを表現できる力を育成する。</p> <p>②総合的な探究の時間を活用して、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。</p> <p>③「職場体験学習」「外部講師による講座」をはじめ、実社会との連携による教育活動を推進する。</p> <p>総合的な探究の時間では、各学年の課題テーマは異なるものの、自分たちが設定した課題の解決に向けて積極的に話し合う姿が多く見られた。発表内容も工夫し、自分の意見や考えを発表する授業も増えてきた。今年度も多くの企業や団体の協力のおかげで、様々な視点から助言や示唆をもらうことができた。</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> ・（1）取組①②③については、工夫して実施していることがわかりました。なお、評価指標が数値目標でないことから、評価しづらい一面があります。数値目標等を設定はできないでしょうか。 ・（2）「道德教育」の取組①②③は、学校の工夫が読み取れました。なお、評価指標が数値目標でないことから、評価しづらい一面があります。数値目標等を設定はできないでしょうか。 ・（3）取組①については、生徒の主体の取組であり、成果も上がったようです。来年度も引き続き、取り組んでください。 （3）取組②は、日本文化を知る機会としての意義のあることです。来年度も引き続き、工夫して取り組んでください。 <p>なお、この2つの取組は、生徒アンケート等を取りやすい学校行事ですので、数値目標等を設定してみたいかと思いますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は道徳的な指導が重要性を増してくると思います。 ・家庭での、不十分な教育を学校で担っていくこともあるかと思いますが、引き続きよろしく願いいたします。 ・（1）③に関連して、進学希望か就職希望かに関わらず、地元企業との接点を持つことは非常に重要と考えます。我々が大学新卒採用を行うなかでも、地元企業の魅力、地域経済への貢献、私たちの生活との関わりを十分に理解していない学生も多く存在します。高校生のうちに、地元企業とのつながりを持ち、興味を持つことは、生徒が学びを含めた将来の方向性を考えるうえで、また、を含めた地元経済の活性化（県外進学後のUターン就職を含む）にとっても重要ですので、一層の促進を図っていただきたいと思っております。 |
| | (2) 道德教育の充実【共通項目2】 | <p>①「道德教育の全体計画」を周知し、各教科、科目において道德教育に関わる単元・項目を考慮して授業展開を図る。</p> <p>②命の大切さや弱者へのいたわり、他人に対する奉仕の心を養うため社会貢献活動を奨励し、その為の啓発活動を推進する。</p> <p>③規範意識、マナー、生活態度等について、職員と生徒が共に考え、帰属意識を高める。</p> <p>①各授業で道德教育に関わる授業展開を実施した。</p> <p>②社会貢献活動として、リポーンバトン（生徒会の企画）、募金活動を実施した。</p> <p>③生徒の規範意識向上の一環としてセルフチェックを実施した。</p> | | |
| | (3) 特別活動の充実【共通項目3】 | <p>①さまざまな学校行事を通して、生徒の自主性や主体性を育み、望ましい人間関係を形成する態度を育成する。</p> <p>②修学旅行や海外語学研修のプログラムを充実させ、国際理解教育の推進を図る。</p> <p>①生徒の希望であった文化祭の一般公開を実施し、生徒主体の文化祭を実施することができた。</p> <p>②修学旅行を通して、改めて日本の文化を知る機会となった。</p> | | |
| 2 生徒指導 | (1) 一人ひとりを大切にした指導【共 | ①普段から生徒の言動に十分気を配り、また、一对一の面談をする機会を設け、目標に向けた取り組みを支援し、 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・（1）～（4）の各取組について、計画、実施・運用など、組織として機能していることがわかりました。評価Aは妥当だと思います。 |

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| 通項目 4】 | <p>個々に適応した対応を心掛けるとともに、心の交流を図る。</p> <p>②学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を効果的に活用し、支援の必要な生徒に対して適切に対応する。</p> <p>①面談週間等を利用し、生徒の声を聴く機会を設けた。</p> <p>②より教育相談を組織的に運用することができた。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・（４）「いじめの再発防止に向けた取組」については、「いじめの未然防止に向けた取組」ではないでしょうか。 ・（４）「生徒会主催の啓発活動」については、来年度、工夫して実施してください。 ・評価指標が数値目標でないことから、評価しづらい一面があります。数値目標等を設定はできないでしょうか。 ・いじめ問題の発生を防ぐ事は難しいが、発生や疑いを放置せず早期に解決する体制づくりが保護者や生徒との信頼構築に繋がるので、その様な視点で目標を設定して評価するよう見直しをお願いしたい。 ・昨今の社会問題から企業でもハラスメント教育を強化している。生徒に対するハラスメント教育に加え教員のハラスメント教育も重要なので両輪での推進をお願いしたい。 ・生徒に対するケアの意識や対応の早さは素晴らしいと感じます。今後も引き続きよろしく願いいたします。 |
| (2) 校内のいじめ対策組織の運営の適正【共通項目 11】 | <p>①「いじめ防止等のための基本方針」を策定して職員に周知し、共通理解のもとに対処する。</p> <p>②「いじめ対策組織」を設置し、定期的に情報交換をする。</p> <p>①職員会議等で本校の基本方針や実際の対応について理解を深めた。</p> <p>②いじめが疑われる事案が発生した場合、情報交換を行った。</p> | |
| (3) いじめの早期発見、状況把握と対応の適切化【共通項目 12】 | <p>①年2回実施している「いじめアンケート」の内容を、より実態が把握できるように見直す。また、事後の対応を相談室と連携して行う。</p> <p>②教育相談体制を整備し、生徒・保護者がいじめを訴えやすい環境を整え、実態把握に努める。</p> <p>①事後の対応は、いじめ対策組織が主となってアンケートの全容を確認し、学年の協力を得ながら該当生徒への聞き取りをした。該当生徒や保護者への説明、加害者への指導を実施することができた。</p> <p>②生徒や保護者が訴えやすい環境整備が進んでいる。</p> | |
| (4) いじめの再発防止に向けた取組【共通項目 13】 | <p>○職員を対象として、いじめの未然防止に向けた取組に関する研修会を行う。また、生徒に対しては生徒会主催の啓発活動を行う。</p> <p>職員に対しては、いじめアンケート実施後、アンケートの全容とその対応、また、生徒の実態について、いじめ対策組織から報告した。生徒に対しては、生徒指導主事から人権について講話、SNSの問題点など動画による視聴を実施した。しかし、生徒会主催の啓発活動は実施できなかった。</p> | |

| | | | | |
|--------------|--------------------|---|---|---|
| 3 進路指導 | 一人ひとりの進路の実現 | <p>①生徒の進路希望や生活の様子を把握し、適切な学習支援・助言を行う。</p> <p>②講習や模擬試験等を通じて、学力向上や検定取得を目指す。</p> <p>③進路意識を高める行事を企画する。(大学見学・模擬授業・職場体験学習・講演会等)</p> <p>①進路希望調査の詳細の共有、面談事前事後アンケートの実施・結果の共有により、適切な支援に繋がった。</p> <p>②講習や模擬試験に Classi 学習トレーニングを導入し、個別最適化した学習の普及に取り組んだ。</p> <p>③進路行事をより効果的に行うため、行事内容等を再検討・再構築した。</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> ・取組①②③について、計画、実施、検討、再構築というプロセスが、組織として機能していることがわかりました。 ・評価指標が数値目標でないことから、評価しづらい一面があります。数値目標等を設定はできないでしょうか。 ・上記1. (1)と同様です。とくに、③に関しては、進路を考えるうえで、アドバイスは重要ですが、自分の目を見て、耳で聞いて、人と触れ合い、感じて判断することも重要と考えますので、一層の促進を期待します。 |
| 4 安全管理・指導 | 学校安全システムの構築【共通項目5】 | <p>①生徒の交通安全に万全を期すため、交通安全教室や交通安全指導(登校指導)等で周りを常に意識した交通ルール・マナー遵守の徹底を図る。</p> <p>②「学校安全計画」を策定し、防災避難訓練を計画的に実施する。また生徒・職員の防災意識の高揚に努める。</p> <p>①交通安全教室、登校指導を実施した。</p> <p>②防災訓練、緊急地震速報の予告なしの訓練を実施し、実際に発災した場合に備える訓練とした。</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> ・取組①②について、計画通り実施できていることがわかりました。 ・予告なしの訓練は、学校としての工夫の一つであり、よい取組です。 ・評価指標が数値目標でないことから、評価しづらい一面があります。数値目標等を設定はできないでしょうか。 ・本校は自転車通学が多いので道交法改定による自転車の罰則強化に関する教育を実施した結果の理解度やヘルメット着用率の向上などを目標に設定した取り組みが必要。 |
| 5 保健管理・指導 | 健康教育の充実【共通項目6】 | <p>①健康診断、健康観察等を通して生徒個々が抱える健康課題を把握する。</p> <p>②校内救急体制を迅速に実行できるようにする。</p> <p>③校内外と連携を図り、組織的に対応をしていく。</p> <p>朝食接種率は97.3%で、昨年度より上昇。歯科、視力の受診率が下がったため、受診の意識づけを図る声掛けをしていきたい。日本スポーツ振興センターへの給付金申請数、保健室利用数は昨年より減少した。</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> ・保健課や養護教諭を中心とした組織が機能していることがわかりました。 ・朝食摂取率のような数値目標を設定してみてもはどうでしょうか。 |

| | | | | |
|-------------|------------------------------|---|---|---|
| 6 特別支援教育 | 学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進【共通項目7】 | <p>①教育相談に関わる研修を計画的に行う。</p> <p>②特別支援が必要な生徒の把握に努めるとともに、必要に応じた支援や合理的配慮を行う。</p> <p>③個に応じた特別支援の方法の研究、個別の支援計画等の作成を推進する。</p> <p>④スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用方法の研究と実践に努める。</p> <p>予算を確保することで、計画通り相談日を設定することができた。養護教諭と連携し、外部関係機関や医療機関との連携も行った。教員、SC、SSWrにもフィードバックを行った。今後もSC、SSWrの来校日と予算の確保をお願いしたい。</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制、特別支援が必要な生徒への対応等、組織的に取り組んでいることがわかりました。 ・数値目標を設定しにくい項目ですが、教育相談を受けた生徒・保護者等の感想等を基に、数値目標等を設定することができないでしょうか。 ・SC、SSWの予算の確保に向けて、市教委への働きかけを継続して行ってください。 |
| 7 組織運営 | 組織・運営の改善 時間管理の徹底【共通項目8】 | ○日課や朝学習等を工夫するなどして、職員の最終退出時刻が原則午後8時までにする。 概ね退出している。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・少しずつですが「働き方改革」が進んでいるようです。生み出した時間は、教員の健康や家族の時間充てることを、管理職が折に触れて教職員に伝えてください。 ・比較的、数値目標を設定しやすい項目ですので、何かしらの数値目標を設定してみてもいいでしょうか。 |
| 8 研修 | 研修体制の充実 | <p>①校内研修テーマ（アクティブラーニング研究）に沿った研修会を前期・後期年2回定期的に実施する。</p> <p>②授業公開週間を前期・後期年2回、3週間ずつ実施し、教員の教科指導力向上と生徒の実態把握に努める。</p> <p>③各種研修会・研究会・講演会などの情報提供を積極的に行なうように努める。</p> <p>アクティブラーニング型授業研究の公開授業を前期・後期合わせて2回実施した。授業公開週間ではAL型授業の参観が盛況であったが、それ以外の授業の参観は少なく課題である。</p> | A | <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標を達成できていて、よいと思います。 ・授業参観の多いクラス、少ないクラスの差が出ていることについては、改善の余地があると思います。研修課が中心となって、検討してみてもいいでしょうか。 |

| | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|---|----------|---|
| <p>9 保護者・ 地域の住民等との連携</p> | <p>信頼される学校づくりの推進【共通項目10】</p> | <p>①本校の教育目標・方針や教育活動を積極的に紹介し、定期的にHPの情報を更新する。 ②総合的な探究の授業等を中心に地域連携を推進する。地域防災や、ボランティア活動への積極的な参加を推進する。 ③PTA総会・地区PTAを通じて保護者や同窓会員に学校の教育方針・教育内容や学校の現況を伝え、理解・協力を求めると同時に、同窓生・保護者からも広く意見を聴取する。また、PTA広報紙では同窓会の活動の様子を保護者に発信する。 ④中学生やその保護者に授業を公開する。 ①HPを更新し、情報発信の強化に努めている。 ②「総合的な探究の時間」では地域の抱える課題や地域の持つ魅力・リソースについて掘り下げ、静岡市内の企業と連携し、我々の地域の活性化企画を立案した。サマーショートボランティアやその他のボランティア活動に参加することを推進した。 ③PTA広報誌の発行や授業参観や文化祭等の学校行事の観覧を通し、保護者に学校の教育活動への理解を深めてもらった。 ④オープンスクール、学校説明会、文化祭等を通して学校公開を実施した。</p> | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・取組①②③④のいずれも達成できているようです。 ・これらの取組は、対外的な取組でもあります。数値目標にこだわりませんが、数値目標はその年度の振り返りにもつながります。工夫を試してみてください。 |
| <p>10 施設設備</p> | <p>教育施設設備の充実と安全管理</p> | <p>○施設・設備、用具・器具は日常的に点検を実施し、学校事故等の防止に努める。 定期的に事前に決められた項目について、関係職員で点検を実施した。</p> | <p>A</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検は、安全、安心な学校の第一歩です。来年度も、引き続き、よろしく願いいたします。 ・施設設備や器具の点検は専門業者による外部点検も有効なので費用は掛かるが職員点検プラス外部点検も追加したらどうか。 |